

# 彙報

昭和三十一年度  
国文学科卒業論文題目

太宰治の人と文子

飛松 宏子

伊勢物語の歌に関する一考察

——業平歌非業平歌の調査を中心として——

綾垣 順子

伊勢物語評価の史的展開

荒巻 宣子

万葉集巻十五の仮名について

池田 啓子

継子物語研究

市川 雅子

佐多稲子における善意の研究

因幡 敬子

西鶴の研究

——「伊勢物語」からの引用について——

有働喜久子

幸田文研究

岡本 民子

御伽草子の性格についての一考察

奥田 洋子

——歌を中心に——

大隅 順子

源氏物語に描かれた終焉

太田喜久子

島崎藤村論

太田ミチ子

更級日記の作者研究

笠間 智子

大和物語の性格について

鹿島 洋子

源氏物語における嫉妬について

勝山 恵子

——その心理描写を中心に——

川野 瑞恵

記・紀の神代巻における詞句の文字表記について  
清永 稜子

平家物語における文学的人間像の一考察

——木曾義仲を中心に——  
小谷 京子

上代特殊かなづかいについて

——モおよびイ段・エ段のかな——  
小松 一枝

野村望東尼研究

——大隈言道との関連において——

佐々木栄子

大斎院とその作品について

真田 裕子

用明天皇職人鑑研究

柴垣 博子

源氏物語の笑い

柴田千鶴子

平安時代仮名日記の考察

——執筆動機と紀行を中心に——

柴山 淳子

武者小路実篤の楽観的人生論について

白水 節子

源氏物語における男性の性格描写

妹尾美輝子

散佚物語についての一考察

——風葉和歌集より——

園田マサル

続日本紀宣命に現れた思想について

立花 和子

小川未明童話における人間像

鶴 弥生

源氏物語の省筆について

轟木 和子

落窪物語の研究

仲宗根雅子

ワニに関する神話伝説について

中村 道子

西鶴研究

——階級別に示された人間観——

奈須 光子

万葉集と玉

梶井基次郎研究

野口美智子

源氏物語における対偶意識について

橋本 千里

落窪物語研究

——人物描写を中心にして——  
原 由紀子

日本演劇史における子役の系譜

——近松を中心に——

原田 葉子

「コリヤード懺悔録」における限定詞について

——  
日野 史代

今昔物語における一観点

平田フミノ

大鏡における批判性

——  
古野 素子

江戸語の漢字漢語について

——浮世風呂をテキストとして——  
福森 雅子

新撰万葉の文字について

待永 正子

西行 試論

松尾 光子

契沖の日本語研究

——万葉集代匠記を通して——  
松枝玖美子

真山書果研究

——西鶴との関連において——  
山本 雅子

大鏡の性格描写

吉竹 道子

昭和三十一年度  
国文学科卒業論文題目

- 小林多喜二論 池田 節子  
御伽草子の異類物について 池田 洋子  
曾丹集の一研究 石田千穂美  
十一世紀の女流文芸における自然描写 井上 芳子  
安愚楽鍋の文体研究 今泉 邦子  
女流日記考 大田 泰代  
—更級日記を中心として—  
今昔物語集と日本霊異記  
—共通説話の比較において— 大津 裕子  
山口県熊毛郡田布施町の方言実態 岡本 邦子  
文学者にみる自殺  
—芥川竜之介・生田春月・太宰治について—  
式子内親王研究 片向紀久子  
右大将と道綱母 沓掛 和子  
—かげろふ日記とかげろふ日記遺文をと  
おしてみた— 楠 良子  
竹取物語の説話性と文芸性について 熊代 京子  
「和泉式部の歌」管見 倉田多美子  
蜻蛉日記について 小出 京子

- 続日本紀宣命の国語学的研究 小宮ハマ子  
源氏物語「夕霧」について 後明由美子  
源氏物語における出家について 重永恵美子  
藤原良経研究  
—本歌取を中心として— 首藤 典子  
都賀庭鐘研究 平 敏子  
平家物語の庶民性 高原 千栄  
義経記の研究 竹内多栄子  
貝原益軒研究 土屋 厚子  
相聞贈答 歌について  
—万葉集と伊勢物語、平仲物語とを比較  
して— 土井紀代子  
石川達三研究  
—その作品の社会性について— 中島 和恵  
宇治拾遺物語の研究 中山千佳子  
歌経標式の研究 野中 洋子  
—国語学的に—  
万葉集卷十六の文字表記について 野見山水恵  
宇治拾遺物語における笑いと諷刺 原田 寛子  
小野 篁 日浅 啓子  
近世期における待遇法の一研究 福山 悦子

- 万葉集卷十四の表記法について 星子 暄子  
「可笑記」の研究 前田 禎子  
堤中納言物語論 的野 嘆子  
幽玄論  
—「正徹物語」を中心として— 美根由美子  
兼明親王の作品研究 村田 年子  
伊勢と其の家集 矢田勢津子  
蕪村書簡の研究  
—芭蕉書簡との比較を主として— 山口 芳子  
山崎 紘子  
実朝研究 湯村喜久子  
近松と町人倫理 和田とし子  
—教化者としての近松— 渡辺 京子  
平安朝文学における七夕  
挽歌—主題と発想—  
源氏物語の怪異性  
—六条御息所の物の怪一考— 渡辺 玲子